

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社富澤商店 新倉庫工場 新築工事	階数	地上3F
建設地	神奈川県相模原市緑区橋本台1丁目3番3の一部	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	80 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2022年4月14日
敷地面積	1,918 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社 関東横浜流通一級建築士事務所
建築面積	1,132 m <sup>2</sup>	確認日	2022年4月15日
延床面積	2,413 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社 関東横浜流通一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.1</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 77% ③上記+②以外の 77% ④上記+ 77%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p><b>Q のスコア = 2.5</b></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア=0.0</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア=3.2</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア=2.0</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p><b>LR のスコア = 3.6</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア=4.2</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア=3.2</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア=3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>JR橋本駅から徒歩15分ほどの工業地域にある工場倉庫</p>	<p><b>その他</b></p> <p>0</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>なし</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>外壁ALCパネル 耐用年数40年 内装 床: 30年・壁: 30年・天井: 30年</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>なし</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>なし</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>躯体+軽鉄+仕上材 ディーテル</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>管理車両や荷捌車両の駐車施設の確保</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される